

徳島県立東部防災館の指定管理候補者の選定結果について

1 申請団体名及び選定結果

施設名	申請団体名	選定結果
徳島県立東部防災館	ジオグラフィックデザイン・シンコースポーツ四国共同事業体	指定管理候補者

（選定理由）

ジオグラフィックデザイン・シンコースポーツ四国共同事業体は、東部防災館の設置目的を的確に把握し、明確な管理運営方針のもと、防災啓発、スポーツ・レクリエーション、体験プログラム、子育て支援の各業務に関して、施設の魅力向上につながる自主事業等に多彩な提案を行っている。

また、職員の適正な配置に配慮するとともに、可能なものについては指定管理者自ら維持管理業務を行うなど、効率的な管理運営のための具体的な計画が示されている。

さらに、地元雇用の基本方針や地域の関係団体と連携した事業展開が示されるなど、地域貢献に資する事業内容となっている。

こうした点を総合的に判断し、施設の設置目的の達成に寄与することが期待できることから、ジオグラフィックデザイン・シンコースポーツ四国共同事業体を指定管理候補者に選定した。

2 徳島県立東部防災館指定管理候補者選定委員会委員名簿

役 職	氏 名
徳島大学教授 環境防災研究センター長	上月 康則
徳島大学教授 人と地域共創センター長	田中 俊夫
NPO法人子育て支援ネットワークとくしま理事長	松崎 恵美子
阿波池田商工会議所副会頭	谷 尚美
徳島県社会保険労務士会顧問	米澤 和美
税理士法人すばる会計社員	真鍋 恵美子
徳島県危機管理環境部副部長	勝間 基彦

3 選定の経緯

令和4年10月26日

10月28日

11月8、9日

11月30日

11月22日～12月5日

12月21日

第1回選定委員会

(募集要項、審査基準等の決定)

募集開始(募集要領の公表)

現地説明会

募集要領配布終了

申請書類受付

第2回選定委員会

(書類審査、提案説明、質疑、
指定管理候補者の選定)

4 選定委員会における選定結果

施設名	申請団体名	総合得点
徳島県立東部防災館	ジオグラフィックデザイン・シンコースポーツ四国共同事業体	適(総合評価)

5 指定管理候補者の提案内容

審査項目	提案内容
県民の平等な利用の確保と施設の効用の最大限の発揮	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の広域物資輸送拠点とともに、県民の健康づくり、子育て支援等を実現する場として、大人も子供も満足度の高い施設となるよう、平時における運営を実施 利用者のニーズに合わせた、サービスの向上や新たな事業展開 防災関係団体と連携した防災意識向上のための様々な参加型啓発イベントの実施 多様な主体と連携した魅力的な講座等の自主事業の実施による利用促進 危機事象に対応した安全管理マニュアルの作成及び職員への訓練実施 行政モニタリングへの積極的な協力及びセルフモニタリングの実施によるサービスの水準の維持・向上
効率的な管理運営(経済性の追求)	<ul style="list-style-type: none"> 電気消費量の削減など環境への負荷低減計画に基づいた効率的な維持管理 自主管理と外部委託の最適なバランスによる管理コストの抑制 指定管理料は、各年135,000千円(税込)、10年間(R5～R14年度)で1,350,000千円(税込)
安定した管理のための人的・物的経営基盤の状況	<ul style="list-style-type: none"> 適切な職員配置と適正な就労環境の整備 他県施設で培った管理運営ノウハウの活用と研修による職員の資質向上 指定管理料、利用料及び自主事業収入を合わせた詳細な収支計画による施設運営
その他、地域への貢献及び連携等	<ul style="list-style-type: none"> 地元雇用や県内企業への優先発注による地元経済への貢献 イベントや講座実施の際の連携による地元関係団体のさらなる活性化